

私たちの「生活が変わる」

好きな時間に駅へ福岡へ



多久島 圭介さん 会社員

Keisuke
Takushima



長崎大学 教育学部 岩永 芽依さん

Mei
Iwanaga

長崎が「通勤、通学圏内」に

毎日のルーティン

博多近くの職場まで、毎日車で通勤しています。高速道路と都市高速を使い1時間30分かかって。交通量が多いときや、事故・渋滞があるときはもっと時間がかかるので、仕事前から疲れることもありますね。帰りは仕事によりますが、20時~21時ぐらいに自宅に着きます。この生活を12年しているので大変というよりは慣れましたね。

武雄に在住する理由

福岡への引っ越しや単身赴任も考えました。しかし、私も山内町で育ちましたし、子どもたちにも同じように育って欲しいと思ったんです。都会には大人になってからでも行けますからね。

将来は電車通勤も

新幹線開業に伴い特急も本数が増えると、時間の選択肢が増え、福岡行きが便利になります。そうすると電車通勤も視野に入ってきますね。今は身体も丈夫ですが、今後、運転に自信が無くなる場

合には、電車通勤をしたいと思います。時間が有効に使えるのも電車通勤の魅力のひとつですね。当日の予定の確認や仕事の連絡、そして仮眠も。運転中には何もできないですから。あと私事です。帰りにお酒が飲めるのもいいですね(笑)

特急増便に膨らむ期待

福岡勤務の知人は単身赴任がほとんどで、週末だけ家族に会いに帰ると聞きます。特急増便によってこれからは自宅からの通勤もしやすくなり、選択の幅が広がると思います。また、福岡で電車に乗る時は時刻表を見ずに駅へ向かうのですが、武雄でも1時間に1本だった電車が2本に増えるので、「駅に着いたらすぐに乗れる電車がある」という生活に変わるのには魅力的ですね。乗り遅れた場合でも30分ほど待てば次の電車が来るというのはかなり便利に感じます。電車に合わせていた私たちのライフスタイルが、今後は、ライフスタイルに合わせて電車が選べるようになりますね。

バスに乗って

「新幹線開業」。そう聞いて、一番に家族の顔が浮かびました。教員を目指し、長崎に住み始めて2年。だいぶ一人暮らしにも慣れてきて、充実した毎日を送っていますが、家族と過ごす時間が大好きで定期的に帰省しています。長崎駅から嬉野インターまで高速バスに乗り、そこからまたバスに乗って帰ることが多いです。帰省したいと思いつつも往復約3時間の移動を考えると、諦めるときもありますね。

長崎が「通勤・通学圏内」に

その移動時間が新幹線だと片道最速23分になると知って、自分の帰省はもちろん、家族や友人が長崎に気軽に遊びに来られる環境になるのかとワクワクしています。それと同時に今の高校生が羨ましくなりましたね。私が長崎大学に進学が決まった時、武雄から「通学する」という選択肢はなかったからです。それがこれからは選択できるようになる。新幹線が

開業することで、長崎が「通勤・通学圏内」になるってすごく魅力的じゃないですか。地元にながら、進学・就職の幅が広がるわけですからね。

地元から通うということ

私自身、これから教育実習が始まったりと忙しくなってくるので、新幹線開業を機に実家から通学するというのはあまり現実的ではないと思っています。ただ、憧れていた一人暮らしもいざやってみるとすごく大変で。家賃・光熱費などの出費も通学することで抑えられますし、たとえ毎月の出費より新幹線の定期代が高かったとしても、実家の安心感は何にも代えられないと思います。

大好きな場所に

新幹線開業まで、残り84日。あと少しで大好きな武雄と長崎を、自由に、もっと便利に行き来できるようになるんですね。自分の生活がより充実する大きなきっかけのひとつになると思います。

※定期券値段

6箇月	3箇月	1箇月	
398,080円	203,060円	69,740円	通勤
231,250円	118,690円	40,570円	通学(大学生)

博多まで特急で通うと?

長崎まで新幹線で通うと?

	1箇月	3箇月	6箇月
通勤	73,080円	213,920円	406,580円
通学(大学生)	47,510円	139,880円	274,480円